

# 平成23年3月期 本決算説明会

平成23年5月16日



## ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

# Contents

- 
1. 23年3月期業績の総括
  2. 23年3月期の概況
  3. 四半期ごとの業績の推移
  4. 計測・計量機器事業 実績-1
  5. 計測・計量機器事業 実績-2
  6. DSP事業の業績
  7. 医療・健康機器事業 実績-1
  8. 医療・健康機器事業 実績-2
  9. 財務分析(貸借対照表)①
  10. 財務分析(貸借対照表)②
  11. 財務分析(キャッシュフロー)
  12. 設備投資・減価償却費の推移
  13. 24年3月期通期見通し
  14. 計測・計量機器事業 見通し-1
  15. 計測・計量機器事業 見通し-2
  16. 医療・健康機器事業 見通し-1
  17. 医療・健康機器事業 見通し-2
  18. タイヤ転がり抵抗試験機
  19. マイクロ天秤BMシリーズ
  20. 医療ICT向け機器の展開について
  21. 東日本大震災の影響について
  22. 補足資料

# 23年3月期業績の総括

## ハイライト

- **日米欧の景気回復および新興国の経済成長を反映し、計測・計量機器を中心に売上が伸長**
- **売上伸長に加え、昨年に引き続き販売管理費の削減に努めた結果、営業損益・純損益ともに黒字転換**
- **DSP事業は前年度上期を底に、保留案件や新規案件が徐々に動き出し、今期4Qに本格的な回復が見え始めた**

# 23年3月期の概況



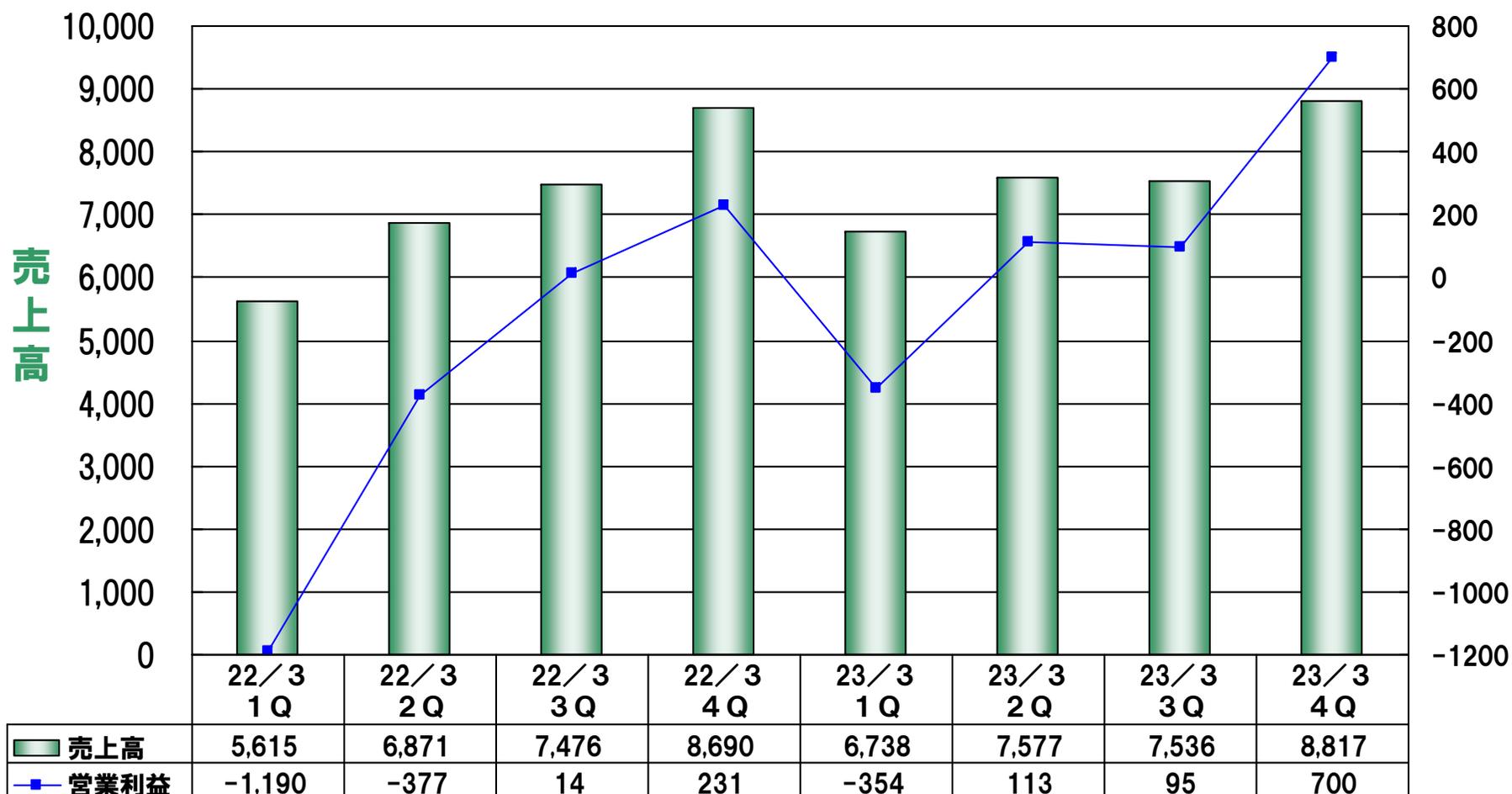
(単位：百万円)

連結損益	22/3期 (実績)	23/3期 (実績)		前期比	23/3期 予想	予想比	コメント	
		上期	下期					
売上高	28,651	14,316	16,354	30,669	7.0%	31,000	-1.1%	計測・計量機器を中心に売上が回復
売上原価	16,445	7,835	8,815	16,650	1.2%	16,710	-0.4%	
販売費及び一般管理費	13,528	6,721	6,744	13,465	-0.5%	13,510	-0.3%	販売管理費の抑制に努めた
営業利益	-1,322	-241	795	555	-	780	-28.9%	
経常利益	-1,356	-461	755	294	-	390	-24.5%	
税引き前利益	-1,403	-500	819	319	-	350	-8.9%	
当期純利益	-2,238	-590	1,128	538	-	700	-23.2%	法人税他△271、法人税等調整額508
1株当たり利益(円)	-111.25	-29.34	56.07	26.73	-	34.80	-23.2%	

(注) 23年3月期予想は、10月29日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表した予想であります(以下同じ)。

# 四半期ごとの業績の推移

単位（百万円）



各Qとも前年実績を上回り、全体を通して上昇基調に

# 計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		22/3期 (実績)	23/3期		23/3期 (実績)	前期比	23/3期 予想	予想比	
			上期	下期					
計測・計量 機器事業	売上	外部売上	15,595	8,054	9,160	17,214	10.4%	17,170	0.3%
		セグメント間	2,517	1,730	1,803	3,533	40.4%	3,141	12.5%
		合計	18,112	9,784	10,963	20,747	14.5%	20,311	2.1%
		売上原価	12,177	6,548	6,994	13,542	11.2%	13,161	2.9%
		販管費	7,391	3,667	3,620	7,287	-1.4%	7,360	-1.0%
		営業利益	-1,456	-431	348	-83	-	-210	-

## 1. 計量機器・DSPを中心に業績が回復基調

⇒売上は前期比10.4%増（通期）

## 2. 前期に引き続き、開発費等の販管費の抑制を継続（前期比1.4%減）

⇒下半期に営業利益が黒字転換（半期ベースでは20/3月期上半期以来、7半期ぶりの黒字）

# 計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	22/3期 (実績)	23/3期 (実績)		前期比	23/3期 予想	予想比
		上期	下期			
計測機器	3,541	1,202	1,832	-14.3%	2,800	8.3%
計量機器	8,917	5,049	5,245	15.4%	10,260	0.3%
計測・制御・シミュレーションシステム(新規)	2,666	1,619	1,706	24.7%	3,760	-11.6%
電子ビーム関連ユニット	471	184	378	19.3%	350	60.5%
売上合計	15,595	8,054	9,160	10.4%	17,170	0.3%

- 計測機器 : 設備投資抑制の継続で大型計測機器の回復が遅れ、通期では前期比マイナスとなったが、下半期は大きく改善
- 計量機器 : 前年度上半期を底に、順調に業績回復が継続
- DSP : 認知度の高まり、ラインアップ充実に伴い、引合い・売上ともに増加
- 電子ビーム関連ユニット : 低調ではあるが、半導体市況の回復に伴い、業績は徐々に上向きに

# DSP事業の業績

(単位：百万円)

	用途種別	21/3期 (実績)		22/3期 (実績)		23/3期 (実績)	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期
新規事業	自動車関連	1,465	1,722	880	1,396	1,461	1,272
	試験機関連	51	41	29	59	41	45
	その他	86	162	127	176	117	389
	小計	1,602	1,925	1,036	1,630	1,619	1,706
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	39	126	8	135	39	265
	計量制御関連	63	95	48	82	53	59
	医療機器					0	0
	小計	102	221	56	217	93	324
合計		1,704	2,146	1,092	1,847	1,712	2,030
売上合計 (通期)		3,850		2,940		3,742	

国内は、設備投資環境は依然として厳しいが、下期に入り自動車関連の大型案件が徐々に決まり始めている。北米は、昨年に引き続き景気回復に伴い、堅調に推移

# 医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		22/3期 (実績)	23/3期 (実績)		前期比	23/3期 予想	予想比		
			上期	下期					
医療・健康 機器事業	売上	外部売上	13,056	6,262	7,194	13,456	3.1%	13,830	-2.7%
		セグメント間	8,259	5,764	5,014	10,778	30.5%	11,260	-4.3%
		合計	21,315	12,026	12,207	24,233	13.7%	25,090	-3.4%
		売上原価	15,289	8,636	8,671	17,307	13.2%	17,790	-2.7%
		販管費	4,961	2,448	2,567	5,015	1.1%	4,940	1.5%
		営業利益	1,065	942	970	1,912	79.5%	2,360	-19.0%

1. 家庭用血圧計は、主力市場であるロシアについては、景気回復に伴い売上が順調に回復したが、国内向けが振るわず  
⇒通期では売上高は前期比3.1%の微増
2. 家庭用血圧計において、売上回復による稼働率の上昇、および販管費の抑制により、営業利益が大きく伸長  
⇒営業利益は前期比79.5%増加

# 医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	22/3期 (実績)	23/3期 (実績)		前期比	23/3期 予想	予想比
		上期	下期			
医療機器	2,237	1,014	1,167	-2.5%	2,200	-0.9%
健康機器	10,819	5,248	6,027	4.2%	11,630	-3.0%
売上合計	13,056	6,262	7,194	3.1%	13,830	-2.7%

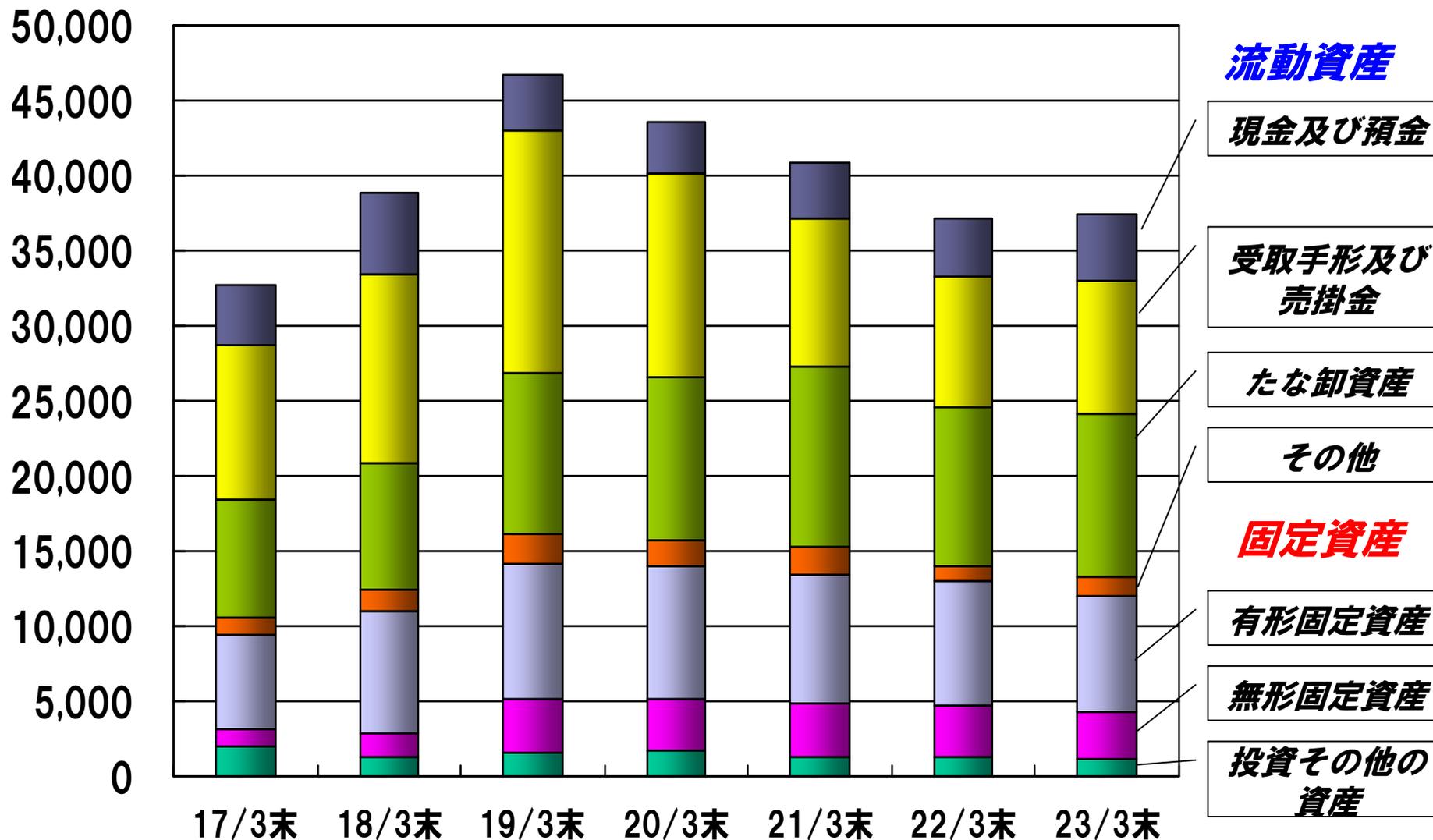
**医療機器**：国内はメディカル計量器が堅調に推移するが、全自動血圧計・ベッドサイドモニターがやや低調

**健康機器**：ロシア向けを中心に業績が伸長したが、国内向けが振るわず、前年比4.2%増にとどまった。

# 財務分析（貸借対照表）

## 貸借対照表分析 資産の部

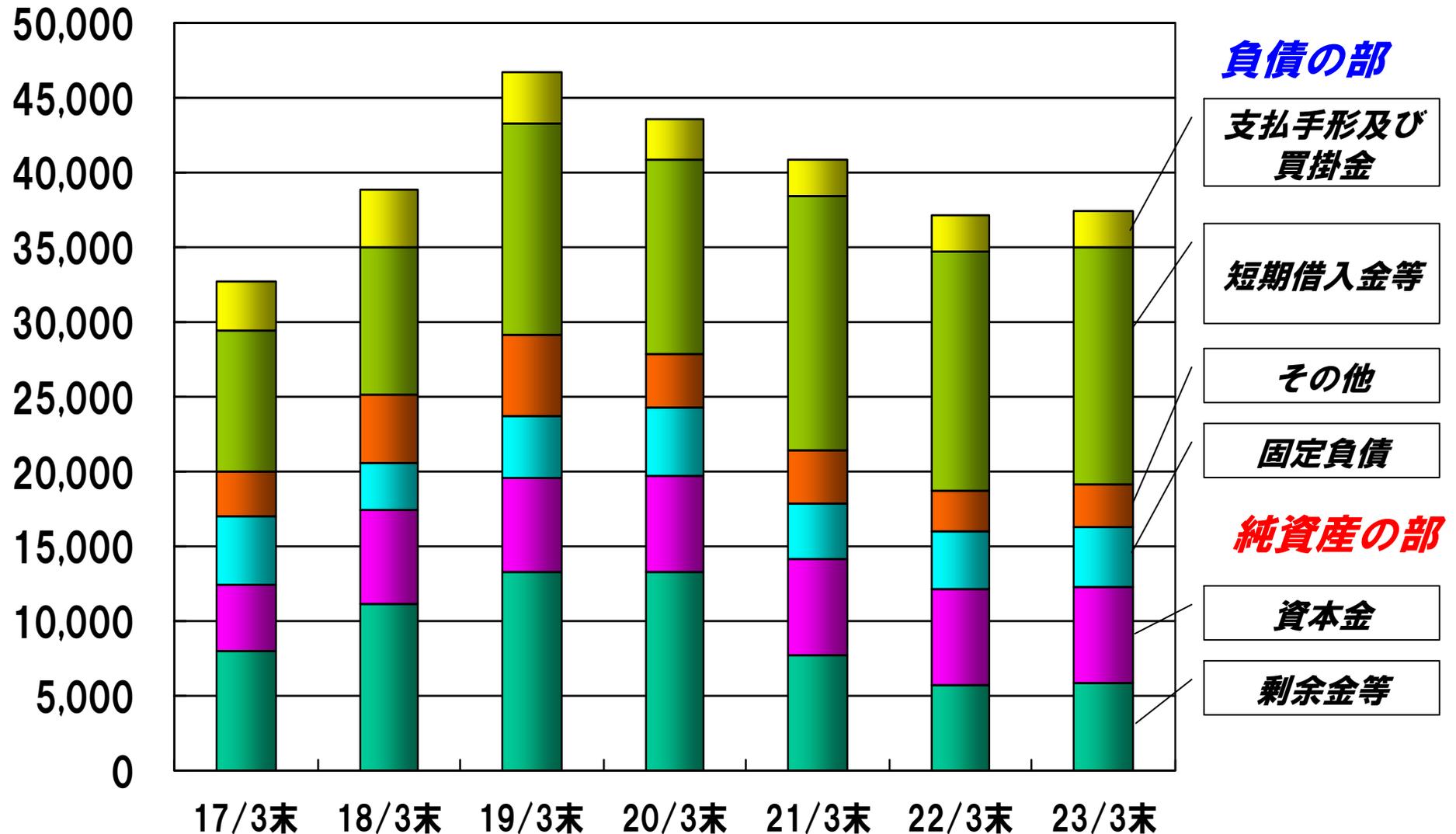
(単位：百万円)



# 財務分析（貸借対照表）

■ 貸借対照表分析 負債・純資産の部

(単位：百万円)



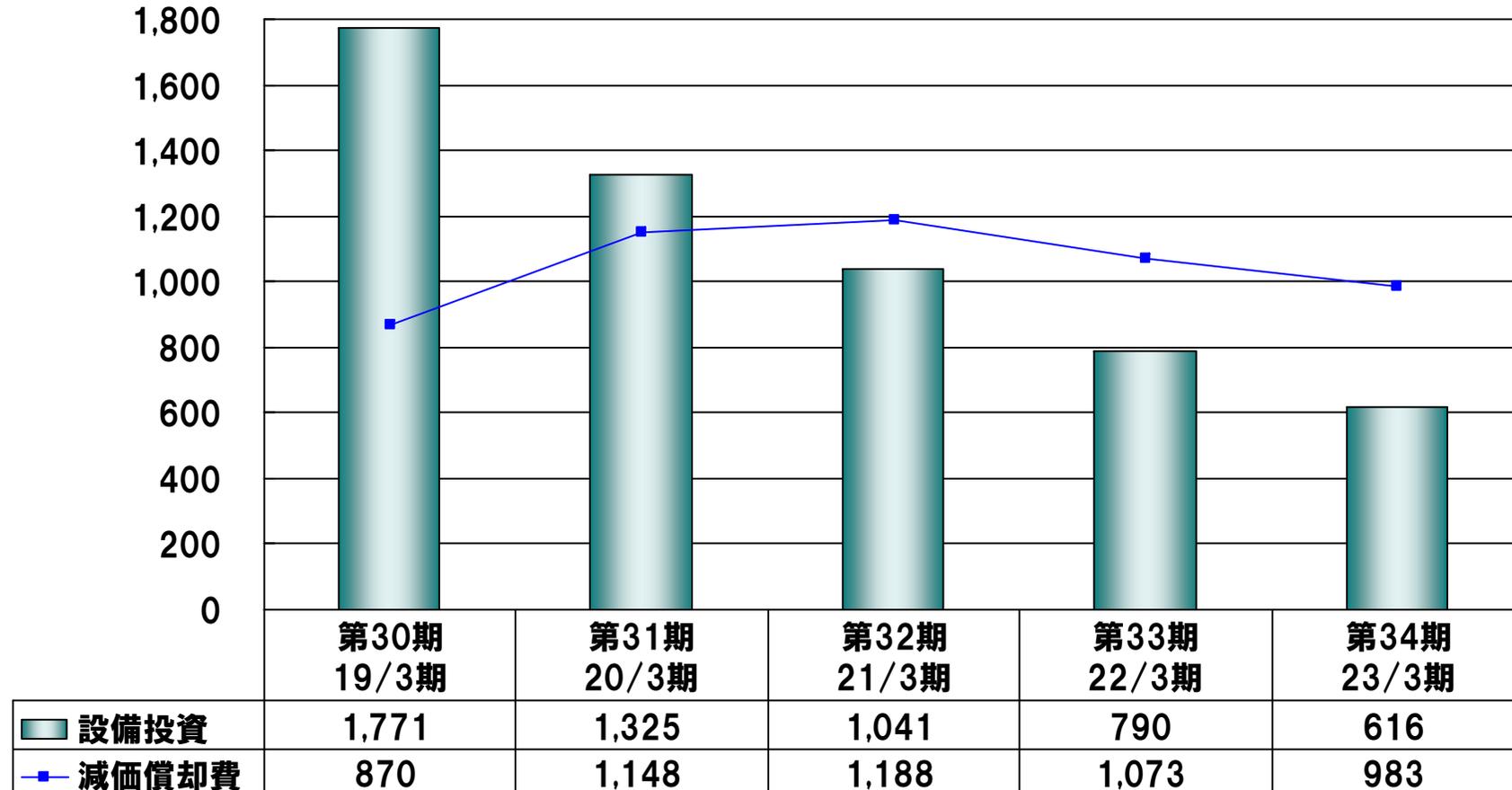
# 財務分析（キャッシュフロー）

## ■ キャッシュフロー分析

連結キャッシュフロー	22/3期 (実績)	23/3期 (実績)	コ メ ン ト
営業活動によるCF	2,157	1,110	減価償却費+1,397、 税金等調整前当期純利益+318、 たな卸資産の増減△649、 売上債権の増減△324
投資活動によるCF	△1,284	△682	有形固定資産の取得▲516 無形固定資産の取得▲289
財務活動によるCF	△942	391	短期借入金の純増+525
現金及び現金同等物の増減額	△51	707	
現金及び現金同等物の期末 残高	2,846	3,553	

# 設備投資・減価償却費の推移

(単位：百万円)



引き続き、設備投資の抑制に努めた

# 24年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	23/3期 (実績)	24/3期 (予想)		前期比	
		上期	下期		
売上高	30,669	15,160	17,340	32,500	6.0%
売上原価	16,650	8,210	9,410	17,620	5.8%
販売費及び 一般管理費	13,465	6,900	6,910	13,810	2.6%
営業利益	555	50	1,020	1,070	92.9%
経常利益	294	-120	840	720	144.5%
税引き前 利益	319	-124	836	712	123.4%
当期純利益	538	-180	790	610	13.4%
1株当たり 利益(円)	26.73	-8.95	39.27	30.32	13.4%

# 計測・計量機器事業 見通し-1



(単位：百万円)

セグメント		23/3期 (実績)	24/3期		前期比	
			上期	下期		
計測・計量 機器事業	売上					
	外部売上	17,214	8,640	9,460	18,100	5.1%
	セグメント間	3,533	1,600	1,790	3,390	-4.1%
	合計	20,747	10,240	11,250	21,490	3.6%
	売上原価	13,542	6,430	7,060	13,490	-0.4%
	販管費	7,287	3,740	3,710	7,450	2.2%
	営業利益	-83	70	480	550	-

## 1. 売上

回復基調が見え始めた計測機器・DSP事業を中心に、前期比5.1%の売上増加を見込む

## 2. 売上原価・販管費

製品原価のコストダウンおよび販売管理費の抑制の継続（前期並み）により、通期での営業黒字化を目指す

# 計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	23/3期 (実績)			24/3期 (予想)	前期比
		上期	下期		
計測機器	3,033	1,470	1,870	3,340	10.1%
計量機器	10,294	5,030	5,310	10,340	0.5%
計測・制御・シミュレーションシステム(新規)	3,325	1,990	2,130	4,120	23.9%
電子ビーム 関連ユニット	562	150	150	300	-46.6%
売上合計	17,214	8,640	9,460	18,100	5.1%

計測機器

：設備投資の回復が見え始めた大型試験機の拡販

計量機器

：ピペットのリークテスタ・容量テスタ及びマイクロ天秤等により、研究室等の分析市場を攻略

新興国向けボリュームゾーン製品の開発および拡販

DSP

：開発コンセプトMBSimの更なる浸透、タイヤラベリング制度導入によりタイヤ業界への拡販

電子ビーム関連ユニット：市況環境は厳しいが、電子ビーム等を利用した応用市場を開拓

# 医療・健康機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント		23/3期 (実績)	24/3期 (予想)		前期比	
			上期	下期		
医療・健康 機器事業	売上	外部売上	13,456	7,880	14,400	7.0%
		セグメント間	10,778	5,010	10,410	-3.4%
		合計	24,233	12,890	24,810	2.4%
	売上原価	17,307	9,150	17,930	3.6%	
	販管費	5,015	2,590	5,130	2.3%	
	営業利益	1,912	1,150	1,750	-8.5%	

## 1. 売上

ロシアにおける家庭用血圧計の復調を主因として、売上は前期比7.0%増を見込む

## 2. 営業利益

人民元高および中国工場の人件費の高騰の影響により、売上原価が増加

⇒営業利益は前期比8.5%減少を見込む

# 医療・健康機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製 品 種 別	23/3期 (実績)			24/3期 (予想)	前期比
		上期	下期		
医 療 機 器	2,180	1,150	1,250	2,400	10.1%
健 康 機 器	11,275	5,370	6,630	12,000	6.4%
売 上 合 計	13,456	6,520	7,880	14,400	7.0%

**医療機器：**・開発スピードを上げて積極的に新製品投入を図る

- ・栄養管理治療への保険点数付与（医科向け計量器需要）等、市場ニーズを的確に捉えて営業を展開する

**健康機器：**・ロシアにおいては競争優位性の確保、成長力のあるアジアマーケット（中国、韓国他）では市場拡大を促進

- ・IT技術活用により、近年欧米を中心に活発となってきた在宅医療および医療ICT（Information Communication Technology：情報通信技術）向け機器分野での売上伸張を図る

# トピックス1～タイヤ転がり抵抗試験機

世界的なエコロジー推奨傾向の中で、自動車の燃費への影響度合いが大きいタイヤ転がり抵抗試験に関する認証規格（ISO28580やJIS D4234）が制定され、またJETMA（（社）日本自動車タイヤ協会）により試験結果をタイヤに表示するラベリング制度が開始された。

A & Dの転がり抵抗試験機は高精度6分力計を採用、1/1000以上の精度で軸力を計測し、また標準偏差0.04以上の再現性を実現、タイヤラベリング制度の運用に必要な転がり抵抗試験機として活用できる。





# トピックス3～医療ICT向け機器の展開について

## 高齢化社会における予防医療と医療業務の効率化に向けて

2009年に、世界で初めてContinua規格（注）の認証を取得したBluetooth通信機能付き家庭向け血圧計、体重計を開発

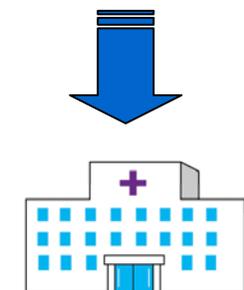


医療機関向け、家庭向け機器の双方を手がけているメーカーとしての強みを生かしながら、医療健康情報のICT化に対応した通信機能付き機器の拡充を行っていく



（注） Continua

intel社を始めとした全世界の大手家電、通信、医療、製薬、保健など、さまざまな分野から200社以上が参加している健康機器の通信規格を標準化する非営利団体



## 1. 被害の状況

### (1) 人的被害

当社グループの従業員におきましては、震災による直接的な被害はありません。

### (2) 施設ならびに業務に対する被害および復旧状況

- ・当社生産子会社研精工業(株)（茨城県下妻市）につきましては、天井・壁面のひび割れ等の被害はあったものの、生産設備および倉庫等の被害は軽微であったため、3月15日に生産を再開しております。
- ・当社仙台出張所（宮城県仙台市）につきましては、壁面のひび割れ、ライフラインの停止等により、一時正常な業務に支障が生じる状態となりましたが、3月22日には業務を再開しております。

## 2. 今後予測される影響

東北地方所在の一部の部品供給業者が被災により、生産再開の目処が立たない状況となっているため、現在代替部品の手配を進めておりますが、先行き不透明な部分もあり、将来生産への支障が生じる可能性もあります。

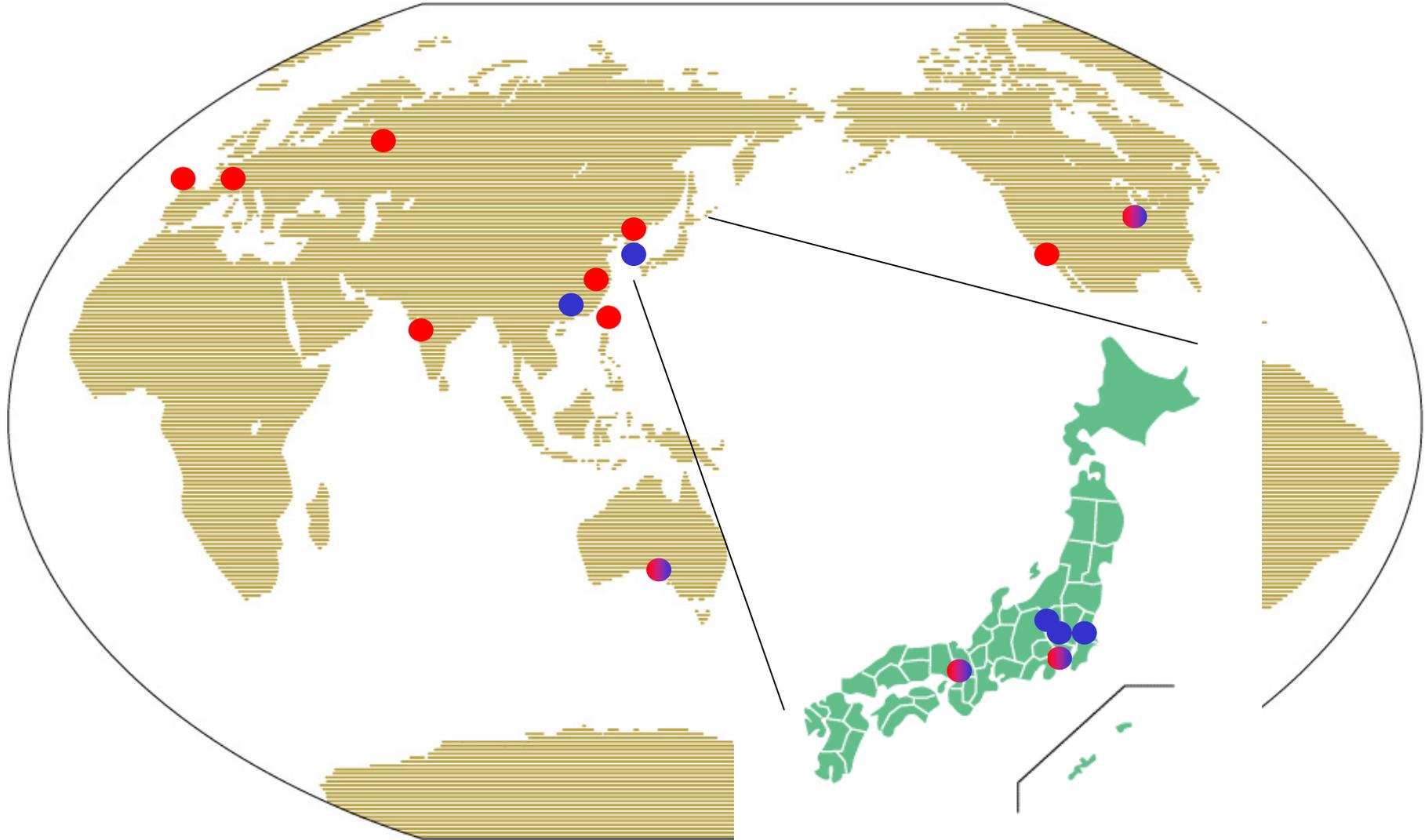
**AND**  
株式会社 **エー・アンド・ティ**

# 補足資料



- 1 グループの概要
- 2 製品紹介（計測機器）
- 3 製品紹介（計量機器）
- 4 製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

# グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動  
生産主体は国内外関係会社  
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

# 製品紹介（計測機器）

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等



万能材料試験機



動的粘弾性自動測定器



車載型リアルタイム  
振動・騒音解析システム

熱中症計



超音波探傷器

# 製品紹介（計量機器）

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.01mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



分析用天秤



防水電子台秤



クレーンスケール



ウェィング・インジケータ



デジタル・ロードセル

# 製品紹介（医療・健康機器）

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等	
病 院 用 デジタル血圧計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血圧計	携帯型自動血圧計	24時間の日常生活での血圧変動を測定	
		血 圧 監 視 装 置	SpO2 (動脈血酸素飽和度) と血圧を同時監視	
		バイタルセンサ	血圧・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定	
		全自動血圧計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定	
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示	
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録	
		バリアフリースケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すりにつかまった状態で安全に計測	
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル	上腕式 手首式	血圧測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		血 圧 計		小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血圧測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和	
		体 重 計	50g単位、肥満・痩せの基準BMIも表示	



# DSPシステムとは

## DSPシステム

### ■ DSPシステムの特徴

- ◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



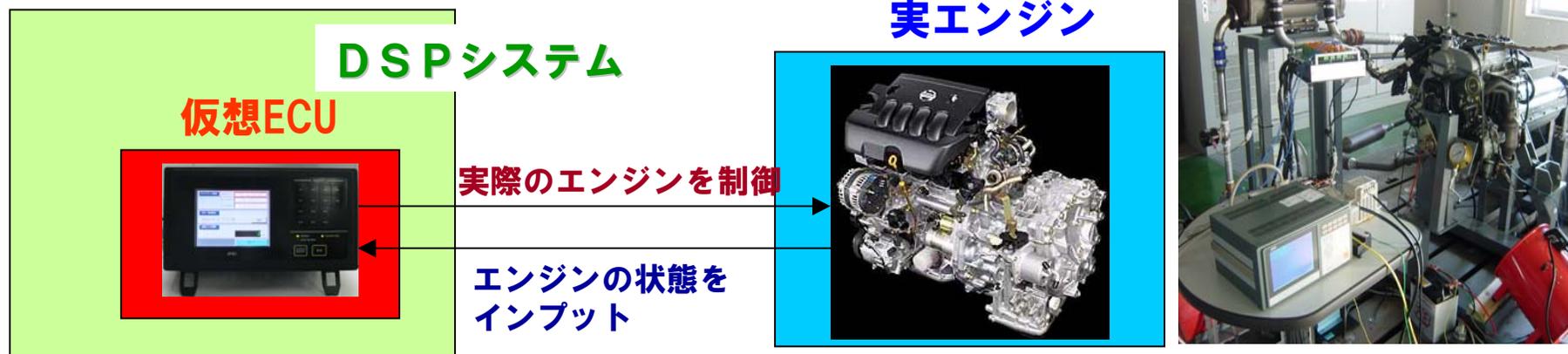
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

# DSPシステムの採用事例－1

## RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



## HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



# DSPシステムの採用事例-2

## ORION

適合支援自動計測  
ソフトウェア

### 1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

### 2. ORIONの特徴

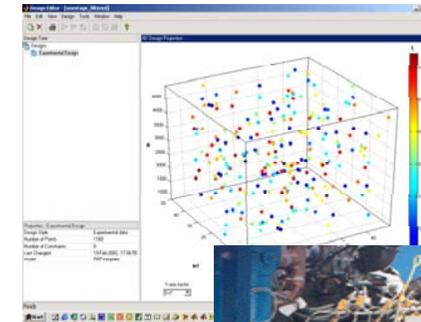
#### ・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

#### ・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

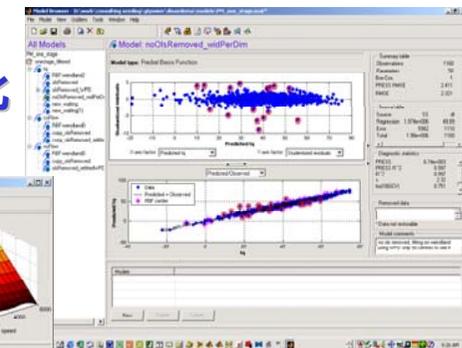
### 実験計画



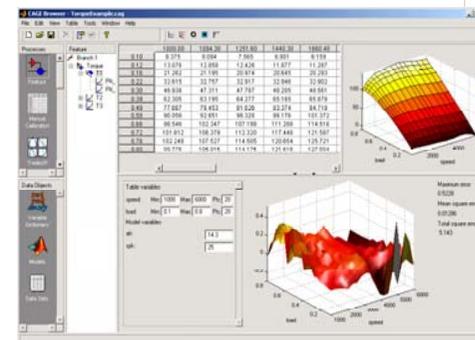
### 評価試験



### ECUのモデル化



### 適合



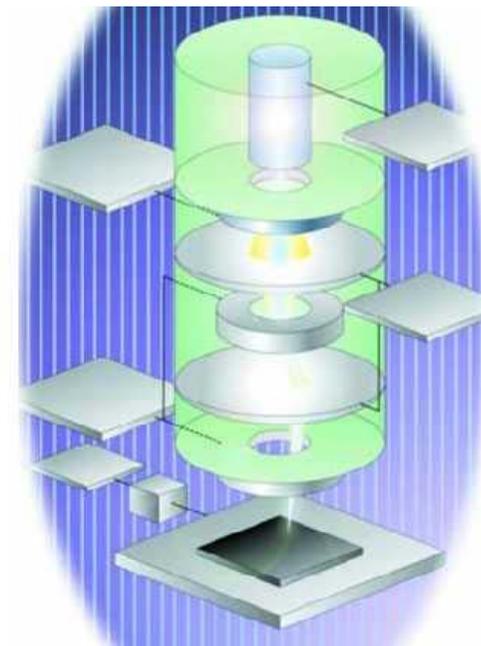
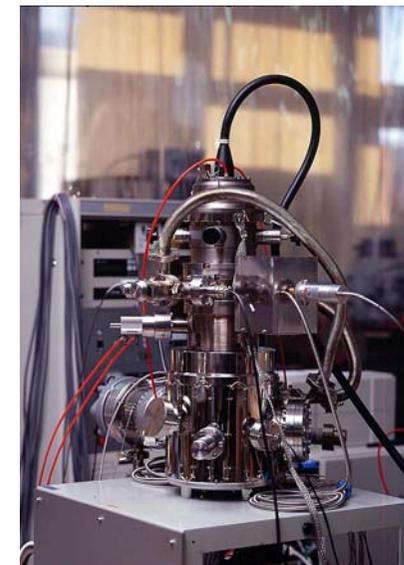
# 電子ビーム関連ユニット

## 電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されておりますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

## 当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**  
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**  
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



# 開発の状況

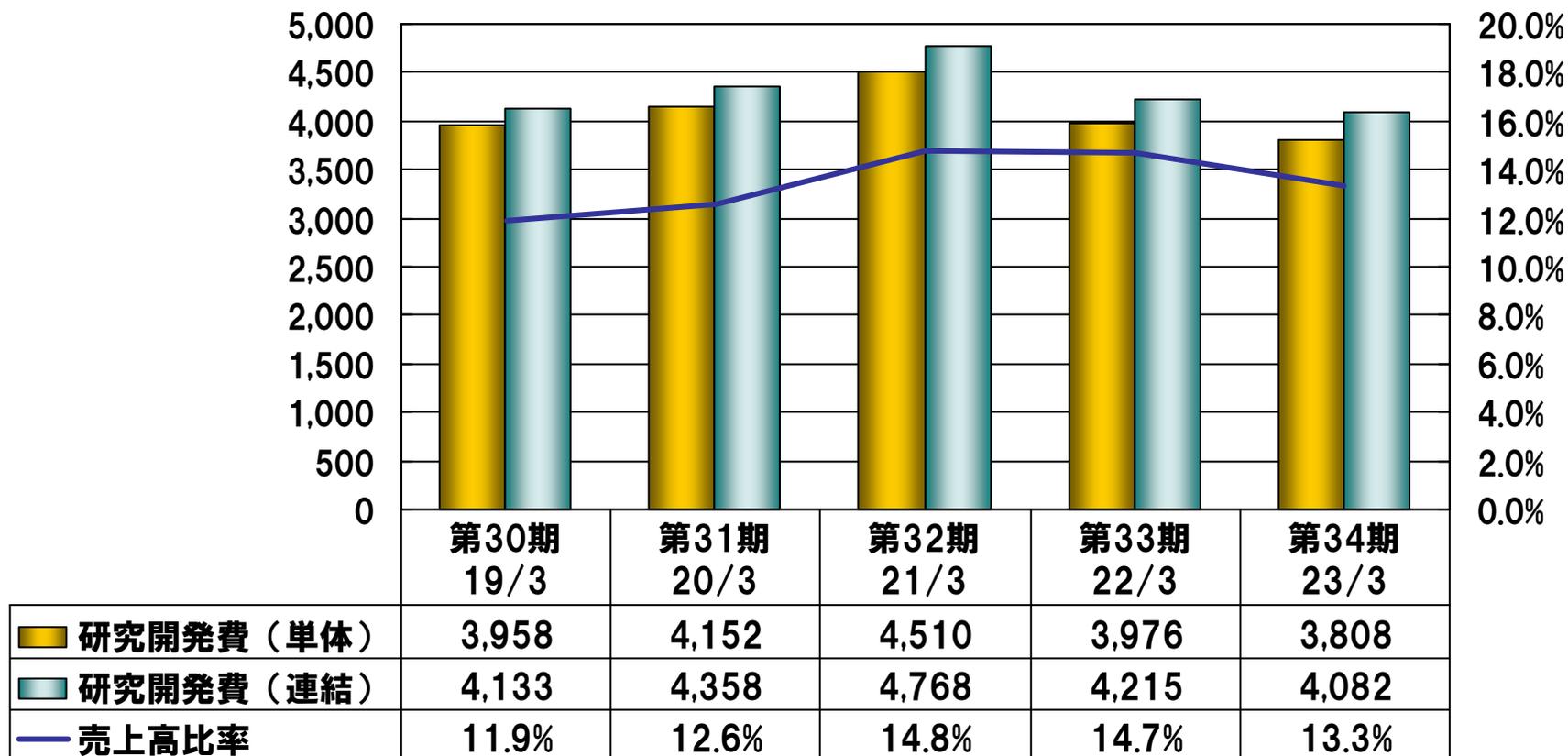


社内資源の多くを開発に投入し、  
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成23年3月末/A & D単体)

既存事業 184名 (52.9%) 開発人員比率  
 新規事業 164名 (47.1%) (単体) は51.1%  
 合計 348名

研究開発費  
(単位：百万円)



※売上高比率は連結売上で算出

**AND**  
株式会社 **エー・アンド・ティ**